

高等学校教育の推進

令和4年7月

兵庫県教育委員会事務局

高校教育課

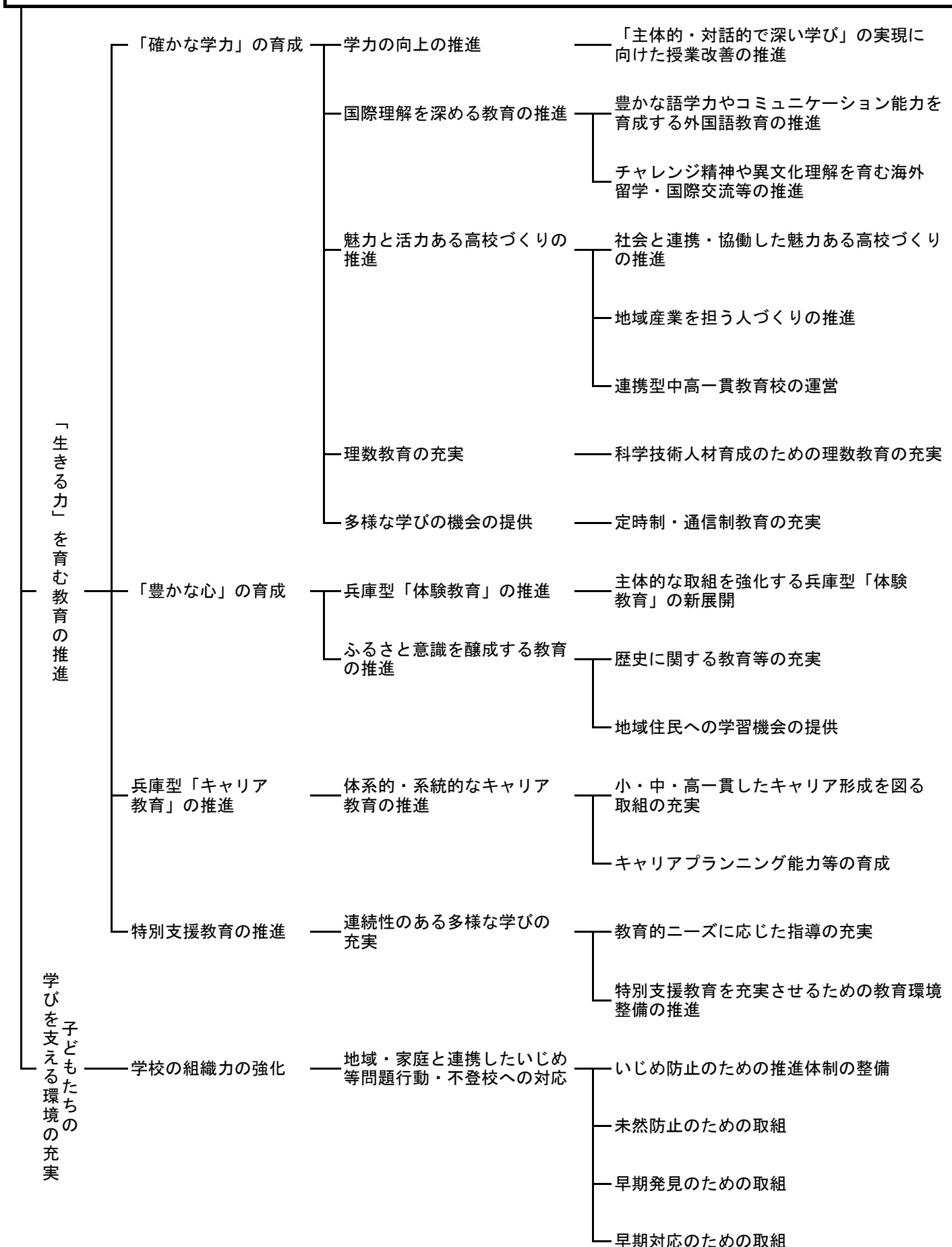
目 次

令和4年度高校教育課施策体系表	3
I 県立高等学校の状況	4
II 「確かな学力」の育成	8
III 「豊かな心」の育成	23
IV 兵庫型「キャリア教育」の推進	26
V 特別支援教育の推進	27
VI 学校の組織力の強化	30
(参考資料1)	
地区別県立高等学校数	35
(参考資料2)	
大学科別県立高等学校数・生徒数	35
(参考資料3)	
「県立高等学校教育改革第二次実施計画」の推進状況(H21～R3)	36
(参考資料4)	
県立高校卒業者の進路状況	38
(参考資料5)	
「ひょうご未来の高校教育あり方検討委員会報告書(R3.3.29受領)」 の概要について	39
(参考資料6)	
「県立高等学校教育改革第三次実施計画(R4.3.策定)」 の概要について	41

令和4年度 高校教育課施策体系表

兵庫が育む ころ豊かで自立する人づくり

～「未来への道を切り拓く力」の育成～



I 県立高等学校の状況

1 課程別学校数

課 程	県立学校数	内 容
全日制	125校	授業や学校行事、部活動などの教育活動を昼間に行う。高等学校の特色に応じて、時間割やクラス編成などを工夫。
定時制	15校 〔 単独6校 併置9校 〕	夜間の時間帯に教育活動を行う。 午後5時から9時頃まで学ぶ。
	4校 〔 単独3校 併置1校 〕	複数の時間帯に教育活動を行う。 1部（午前）、2部（午後）、3部（夜間）の3つの部のいずれかに属して学習する。 部を越えて時間割を組み学習することも可能。
通信制	2校 〔 単独1校 併置1校 〕	通信の方法により教育活動を行う。レポートの提出やスクーリング（教室などで教員から直接指導）などにより単位を修得。
計	135校（単独124校、併置11校）	
中等教育学校 1校		6年間の一貫した教育を行う。 （前期：中学段階、後期：高校段階）

2 学科別学校数

(1) 全日制（125校）

学 科	県立学校数	学習内容	選抜方法・学区	
普通科	学年制	84校	国語、地理歴史、公民、数学、理科、英語等の各学科に共通する教科（以下、「共通教科」という）を中心に学ぶ	
	単位制	7校		
専門学科	職業教育を主とする学科	学年制	共通教科とともに、農業、工業、音楽、美術等の専門教科（25単位が必須）を学ぶ	
		単位制		2校 2学科
	特色ある専門学科	学年制		16校 18学科
		単位制		2校 2学科
総合学科	単位制	14校	共通教科と専門教科（「産業社会と人間」を含め25単位設置が必須）を選択履修し総合的に学ぶ	

※1 設置校は、令和4年度に生徒募集をした学校。以下同じ。

※2 複数の学科を設置している学校がある。

※3 単位制は、学年の区分なく、必要な単位を修得することで卒業を認定する。

※4 選抜方法・学区は、原則を記載している。

(2) 定時制 (19校)

学 科			県立学校数	学校名	選抜方法・学区
普通科	夜 間	学年制	8校	湊川、有馬、錦城、農業、松陽、赤穂、豊岡、洲本	学力検査 (全県)
		単位制	1校	姫路北	
	多部制 (単位制)	3校	西宮香風、阪神昆陽、西脇北		
専門 学 科	夜 間	工業科	4校 4学科	神戸工業、神崎工業、小野工業、相生産業	
		商業科	2校 2学科	長田商業、龍野北	
	多部制 (単位制)	工業科	1校 1学科	飾磨工業	

※多部制は全て単位制

(3) 通信制 (2校) 青雲、網干 ※通信制は全て単位制

3 普通科 (全日制)

(1) 概要

国語、地理歴史、公民、数学、理科、英語等の共通教科を中心に学んでいる。加えて、生徒の興味・関心、適性・進路希望等に応じて系統的な教科・科目が学べる「コース」、地域の実態、生徒の学習ニーズ等を踏まえて各分野や領域に関する学習を取り入れた「類型」を設置している。

(2) コースの設置状況 (全日制 15校 16コース)

コース名	設置数	学校名
国際文化系	4校	神戸鈴蘭台、宝塚西、明石城西、姫路飾西
自然科学系	9校	津名、淡路三原、川西緑台、柏原、篠山鳳鳴、姫路飾西、相生、福崎、八鹿
総合人間系	3校	御影、尼崎、北条

※下線は複数設置校 (以下、同じ)

(3) 特色類型の設置状況 (全日制 55校 57類型)

類型名	設置数	学校名
人文・社会学系	2校	須磨東、西宮北
自然科学系	7校	星陵、舞子、伊丹、西宮北、明石、西脇、赤穂
環境・情報系	6校	尼崎北、西宮南、明石清水、三木北、吉川、家島
教育系	6校	夢野台、猪名川、西宮甲山、三田西陵、明石西、山崎
芸術・スポーツ系	7校	伊川谷北、尼崎西、高砂、松陽、姫路南、神崎、村岡
看護・福祉系	7校	東灘、神戸北、尼崎小田、伊丹西、高砂、社、多可
国際系	3校	川西明峰、加古川西、網干
総合系	19校	長田、伊川谷、神戸高塚、洲本、川西北陵、鳴尾、宝塚、宝塚東、北摂三田、高砂南、東播磨、播磨南、姫路別所、上郡、伊和、夢前、出石、浜坂、生野

(4) 単位制の設置状況（7校）

設置数	学校名
7校	北須磨、尼崎稲園、西宮、芦屋、三田祥雲館、加古川北、姫路東

4 専門学科（全日制）

(1) 職業教育を主とする学科

① 概要

農業、工業、商業など職業に関する各分野における将来のスペシャリスト及び地場産業を担う人材、人間性豊かな職業人を育成する。

② 設置状況（30校、40学科）

学科名	設置数	学校名
農業科	10校	有馬、氷上、篠山産業、篠山東雲、農業、播磨農業、上郡、佐用、山崎、但馬農業
工業科	12校	兵庫工業、尼崎工業、篠山産業、東播工業、西脇工業、小野工業、姫路工業、飾磨工業、相生産業、龍野北、豊岡総合、洲本実業
商業科	7校	神戸商業、篠山産業、松陽、小野、姫路商業、相生産業、洲本実業
水産科	1校	香住
家庭科	5校	松陽、西脇、社、小野工業、佐用
看護科	2校	龍野北、日高
福祉科	3校	武庫荘総合、龍野北、日高

※看護科には専攻科を設置し、5年一貫教育を実施

※武庫荘総合・飾磨工業は単位制

(2) 特色ある専門学科

① 概要

理数、国際、防災、スポーツや芸術など、専門的な技術・知識の習得、人間性の涵養を行い、将来、社会の各分野で活躍できる人材を育成する。

② 設置状況（18校、20学科）

学科名	設置数	学校名
理数科	10校	神戸、兵庫、尼崎小田、宝塚北、明石北、加古川東、小野、姫路西、龍野、豊岡
体育科	1校	社
音楽科	1校	西宮
美術科	1校	明石
国際科	5校	尼崎小田、鳴尾、国際、明石西、三木
演劇科	1校	宝塚北
環境防災科	1校	舞子

※国際、西宮は単位制

5 総合学科

(1) 概要

生徒の興味・関心、適性・進路希望等に応じて、共通教科と専門教科の中から科目を選択する。将来の職業や生き方を考える科目「産業社会と人間」を必須とする。また、「系列」と呼ばれる多様な選択科目を設けている。

(2) 設置状況 (14校)

学校名	設置している系列
神戸甲北	人文科学、自然科学、情報科学、生活環境、国際理解、芸術文化
須磨友が丘	国際・社会、人文・教育、情報・科学、医療・保健、くらし・生活、芸術・スポーツ
伊丹北	人文国際、自然科学、情報メディア、芸術文化、健康福祉・スポーツ
西宮今津	自然科学、社会科学、人文国際、情報SSC、生活文化、スポーツ・芸術
武庫荘総合	歴史・文芸、国際コミュニケーション、工業テクノロジー、情報サイエンス、環境エコロジー、健康・福祉
有馬	人文科学、生活と健康、創造と表現、自然科学
明石南	自然科学、人文・社会科学、国際コミュニケーション、スポーツ・芸術、看護・保育・福祉
加古川南	人文科学、自然科学、国際文化、情報商業、芸術、生活福祉、スポーツ科学
三木東	自然科学、国際コミュニケーション、和の文化、経営アントレプレナー、健康福祉（現2・3年次生対象） 地域創生、自然科学、グローバルコミュニケーション、健康福祉、経営マネジメント（現1年次生対象）
香寺	情報ビジネス、児童保育、芸術文化、医療看護、人文・社会・自然科学
太子	ことば、社会、こども、実務、からだ、自然
豊岡総合	創造科学、地域国際、経営ビジネス、ライフデザイン
和田山	文理探究、ビジネス情報、キャリアデザイン
淡路	花と緑と海のめぐみ、調理、まなび探究、ライフサポート

※総合学科は全て単位制

II 「確かな学力」の育成

基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を育成し、確かな学力を身に付けさせる教育を推進する。

1 学力の向上の推進

(1) 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進

① ひょうご学力向上研究事業の実施 1,876 千円

新学習指導要領が求める資質・能力を育成するため、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を研究する重点校を指定し、カリキュラム開発を行う。

(ア) 重点校 15校

(イ) 指定期間 令和3年度～令和5年度の3年間

(ウ) 対象 全6領域（国・数・地公・理・外・総合的な探究の時間）

(エ) 内容

- ・専門グループ会議（授業研究）の実施 ・取組発表の実施（各地区）
- ・学力向上全県研修会（学識経験者によるカリキュラムに対する指導・助言）

(オ) 取組スケジュール

〔R3〕 観点別学習状況の評価についての研究、全6領域の公開研究授業

〔R4〕 ICTを活用した学びの研究、実践事例集の全県配布

〔R5〕 特色あるカリキュラム開発、全県成果発表会、教員専用サイトへ好事例掲載

② 高大接続改革推進事業の展開 13,723 千円

ア 学力向上モデル校事業

地方の伝統的な県立高校に期待される役割を果たすためモデル校を指定し、論理的思考力や問題解決能力等、大学が求める学力を身に付ける発展的高大接続プログラムを展開する。

(ア) 指定校 3校（篠山鳳鳴、八鹿、洲本）

(イ) 指定期間 令和元年度～令和5年度の5年間

(ウ) 取組内容



3校合同ディベート大会

学校名	研究内容	連携先
(共通取組)	<ul style="list-style-type: none"> ・高校と大学が連携して、大学が開発した「AI活用人材育成プログラム」等の教育プログラムを取り入れた教育課程の開発（大学での単位認定も含めて研究） ・先進的な大学の学びを高校の課題研究として学べる学校設定科目を実施 ・アカデミック・インターンシップの実施（長期休業中に各大学において実施） ・遠隔授業等、ICTを活用した大学との連携授業を実施 ・ALTや外部人材を活用した特別補習の実施 	<p>神戸大学 関西学院大学</p>
篠山鳳鳴	<ul style="list-style-type: none"> ・探究活動の推進（地域探究の充実、探究ループリックの開発） ・カリキュラム開発（教科横断型授業、STEAM Day「金融教育」「プログラミング」） ・グローバル人材の育成（タイの高校とのオンライン交流、ALTとの国際交流プログラム） 	<p>経済産業省 神戸大学 JICA関西</p>
八鹿	<ul style="list-style-type: none"> ・学校設定科目「科学探究Ⅰ」（探究型実験講座、演劇ワークショップ、AI活用for SDGs） ・学外での探究活動発表（課題研究合同発表会at京都大学、甲南大学リサーチフェスタ） ・大学、研究所見学（兵庫県立大学地域資源マネジメント科、理化学研究所等） 	<p>芸術文化観光専門職大学 関西学院大学 兵庫県立大学</p>
洲本	<ul style="list-style-type: none"> ・学問研究ワークショップ（大学院生、社会人とのオンライン交流） ・未来探究東京ツアー（国立科学博物館、JAXA、JICA筑波国際センター等） ・自然環境フィールドワーク（成ヶ島の臨海調査、鮎屋川ダム周辺調査） 	<p>理化学研究所 JAXA、JICA 西はりま天文台</p>

イ 国際力強化モデル校事業

将来、国際的に活躍できる人材を育成するため、モデルとして国際高校と兵庫県立大学が連携し、その専門的な教育資源を活用した発展的な学習を通して、高校段階から高度な英語力と国際的視野を育み、国際化に対応した特色づくりを推進する。

(ア) 指定校 国際高校

(イ) 指定期間 令和元年度～令和5年度の5年間

(ウ) 実施内容

- ・高校生が先進的な大学の授業を受講し大学での単位認定を認めるカリキュラムの開発
- ・長期休業中等を活用した「多文化共生セミナー」の実施
- ・大学教授等による特別補習の実施、外国人留学生との交流

③ 高大接続事業の展開

県教育委員会と京都・大阪・神戸大学とで締結した協定に基づき、生徒の学力向上に資する発展的な学習や学習意欲を喚起するため、大学と高校との連携による教育及び研究活動を展開する。

ア 実施校

(ア) 京都大学 連携校を指定しない包括的な協定

(イ) 大阪大学 連携指定校 20校

(ウ) 神戸大学 連携指定校 8校

イ 内容

(ア) 高大連携課題研究合同発表会（京都大学）

(イ) 高校生対象探究力を伸ばすワークショップ、教員向け探究学習研修会（大阪大学）

(ウ) 大学教授による出前講座、研究室訪問（神戸大学）

④ 地域との協働による先進的教育研究開発事業の実施

9,640千円（国庫）

地域振興の核としての機能を強化するため、市町、大学、産業界等と協働でコンソーシアムを構築し、地域課題の解決等の探究的な学びを通じて、将来の地域の新しい価値を創造するなど地域を支える人材を育成する。

(ア) 指定校 3校 地域魅力化型：村岡

グローバル型：兵庫

プロフェッショナル型：佐用

(イ) 指定期間 令和2年度～令和4年度の3年間

(ウ) 実践内容

類型	学校名	研究内容	連携先
地域魅力化型	村岡	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活性化策を立案できる人材育成プログラムの開発 ・伝統芸能、郷土料理、スポーツを軸とした観光資源の創出 ・全国規模の地域づくりサミットの開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・香美町 ・兵庫県立大学、鳥取大学 ・地元企業 等
グローバル型	兵庫	<ul style="list-style-type: none"> ・神戸市長田区の課題解決のための提案や地域貢献活動の実践 ・国際都市“KOBE”に在住する外国人や観光客を対象としたビッグデータを活用した課題解決の研究 	<ul style="list-style-type: none"> ・近畿財務局神戸財務事務局 ・神戸市 ・神戸商工会議所 ・大阪大学 等
プロフェッショナル型	佐用	<ul style="list-style-type: none"> ・特産品を活用した商品開発、高齢者向けレヒビ、防災食開発等 ・健康寿命延伸、災害に強い町づくりへの改善策の提言 ・高齢者が充実して暮らせる町づくりに向けた提言・実践 	<ul style="list-style-type: none"> ・佐用町、佐用町連合自治会 ・兵庫教育大学、島根大学 ・日本調理専門学校 ・地元企業 等



地域学入門 シーカヤック体験（村岡）



探究活動におけるポスターセッション（兵庫）



高齢者宅への訪問サービス（佐用）

⑤ **新** 普通科改革における新学科設置事業の実施 11,200千円(国庫)

学校教育法施行規則一部改正による普通科改革を踏まえ、新学科設置を検討する学校に対し、学識経験者や大学等との連携や、カリキュラム開発を支援する。

(ア) 指定校 2校 (御影高等学校、柏原高等学校)

(イ) 指定期間 令和4年度～令和6年度の3年間

[参考：普通科新学科の取組]

「学際領域に関する学科」＝SDGsの実現等の課題を探究

「地域社会に関する学科」＝地域社会が抱える課題を探究

⑥ **新** ひょうごリーディングハイスクールの実施 5,000千円

新たな特色化を進める学校のスクール・ポリシーを具体的に実現するため、学校外との連携を図りながら、独自のカリキュラム・マネジメントを推進し、「学校設定教科」、「学校設定科目」を含んだ特色あるカリキュラム開発を行う学校を支援する。

(ア) 指定校 10校

(イ) 指定期間 令和4年度～令和6年度の3年間

(ウ) 内 容 学識経験者等によるカリキュラム開発委員会の開催 (年2回)

カリキュラム開発コーディネーターの派遣 (年5回)

学識経験者等による講演会の実施 (年1回)

関係機関での実習 (年1回)

小中学校関係者や地域住民等を対象に成果発表会の開催 (年1回)

2 国際理解を深める教育の推進

(1) 豊かな語学力やコミュニケーション能力を育成する外国語教育の推進

① グローバル・イングリッシュ・プロジェクトの実施

679,220千円

英語力の向上と異文化理解を促進するため、全ての県立高等学校及び中等教育学校に外国語指導助手（ALT）を配置する。

ア 配置人数 132人

※アメリカ合衆国、オーストラリア、イギリス、カナダ等11カ国

イ 活用方法

【全県立高等学校】

- (ア) 異文化理解に係る教育活動の充実
- (イ) 英語教育の充実に向けた発表会の指示・助言
- (ウ) ホームルーム活動、部活動、学校行事等における日常的な英語活動機会の充実
- (エ) イングリッシュキャンプの実施 等

【重点配置校（国際系学科・コース、SSH指定校 等）】

- (ア) 海外の高校生との共同学習の指導
- (イ) 英語以外の授業（数学・理科等）での英語による授業



スピーチコンテスト（尼崎小田）

(2) チャレンジ精神や異文化理解を育む海外留学・国際交流等の推進

① 県立高校国際交流事業の実施

国際社会の一員としての幅広い教養と豊かな人間性を育成するため、姉妹州省において現地の高校生等との交流を通じて、文化・価値観の違いが実感できる体験活動プログラムを実施する。

ア 広東省との交流事業 ⇒中止

- (ア) 派遣人数 高校生10人、引率2人
- (イ) 派遣期間 令和4年10月末～11月初旬

イ 海南省との交流事業 ⇒中止

- (ア) 受入人数 高校生10人
- (イ) 受入期間 令和4年10月末～11月初旬



中国・海南省との高校生交流事業(R1)

【参考：コロナ禍における国際交流】

オンライン交流の実施状況

- ・令和2年度 8校(台湾、韓国、オーストラリア等)
- ・令和3年度 41校(中国、台湾、韓国、オーストラリア、ニュージーランド、タイ王国等)

オンライン交流の内容

- ・グループに分かれて、互いの街や文化に関するプレゼンテーション及び質疑応答
- ・姉妹校の生徒とのディスカッションや、仮想空間において各自の研究の発表
- ・SDGsに関する協働プレゼンテーション
- ・ビデオ投稿交換 等

新たな取組

- ・インド グジャラート州とのオンライン交流に向けた取組の推進

② 高校生留学促進事業の実施

22,869千円(一部国庫10,469千円)

ア 高校生海外留学の支援

海外留学の経験によって豊かな語学力やコミュニケーション能力を育成するため、海外の後期中等教育機関に通う生徒を対象に、留学に係る補助金を給付する。

・補助人数等(国公立計)

対 象	長期留学 (1年間)	短期留学 (10日間以上1か月未満)
給付人数	8人	65人
給付金額	30万円/1人	6万円/1人

イ 留学フェアの開催

海外留学への理解を図り、留学への機運を醸成するため、「兵庫県高校生留学フェア」を実施する。

- (ア) 日 程 令和4年7月18日(月・祝)
甲南大学 岡本キャンパス
- (イ) 内 容 海外留学に関する講演、留学経験者による体験発表、留学斡旋団体による情報提供
- (ウ) 対 象 中・高校生、保護者、教育関係者



留学経験者による体験発表 (R3)

ウ はじめて留学の実施

外国語等の学習に熱心に取り組み、海外への留学を希望するが、家庭の経済的理由により参加が困難な生徒に留学の機会を提供するため、補助金を交付する。

- (ア) 対 象 者 県内所在の高等学校に在籍し、兵庫県教育委員会、学校、地方公共団体、または高校生の留学・交流を扱う民間団体が主催する留学プログラム(原則7日以上1ヶ月未満)への参加(学校の教育活動の一環として参加の場合に限る。)を希望し、かつ教育振興会の奨学資金の貸与基準以下の世帯の生徒
- (イ) 給 付 額 上限20万円/人

③ 海外工業高校生との技術交流事業の実施 ⇒中止

964千円

グローバルに活躍する技術者精神を醸成するため、海外の工業高校生と県立工業高校生を相互に派遣し、技能コンテスト等を通じた技術交流を実施する。

- (ア) 派遣時期 令和4年11~12月予定(5泊6日)
- (イ) 派遣人数 県立工業高校生6人
- (ウ) 内 容 海南省の工業高校生との技能コンテストを通じた技術交流等

④ 教員の国際交流の実施

6,691千円

ア ワシントン州への教員派遣事業 ⇒中止

(ア) 人数 高校教員2人

(イ) 期間 令和4年8月～令和5年7月(2人)

イ 西オーストラリア州との教員交流事業

(ア) 教員長期相互派遣 ⇒中止

・派遣人数 高校教員2人

・派遣期間 令和4年4月～令和5年3月

・受入人数 西オーストラリア州立学校教員1人

・受入期間 通常1月から1年間

(イ) 管理職交流 ⇒中止

・派遣人数 学校管理職2人

・派遣期間 令和4年8月

・受入人数 西オーストラリア州立学校管理職等2人

・受入時期 令和4年10月下旬～11月初旬

ウ タイ王国との教育関係者交流事業 ⇒中止

(ア) 派遣人数 学校管理職等10人

(イ) 派遣期間 令和4年8月

(ウ) 受入人数 タイ教育省、学校管理職等10人

(エ) 受入期間 令和4年9月



ワシントン州への教員派遣事業(R1)

⑤ 外国人生徒のための学習支援事業の実施

29,113千円

学ぶ意欲があるにもかかわらず日本語能力やコミュニケーション能力が十分でないことから、高等学校に進学することが難しい外国人生徒を支援するため、特別な入学者選抜を実施する。併せて入学後も適切な指導を行う。

(ア) 実施校 5校(芦屋、神戸甲北、伊丹北、加古川南、香寺)

(イ) 定員 15人

(ウ) R4入学者数 9人(芦屋1人、神戸甲北3人、伊丹北2人、加古川南1人、香寺2人)

(エ) 内容 適切な入学者選抜方法、入学後の指導方法(日本語指導、対象生徒への個別授業等)の開発

⑥ 芦屋国際中等教育学校の運営

ア 概要

多文化共生社会の実現に向け、広い視野を持って異なる文化を理解・尊重し、共に学びあえる生徒を育成するため、6年間を通じて学ぶ中高一貫教育校として平成15年4月に開校。

イ 募集人数

(ア) 外国人生徒 30人

(イ) 海外から帰国した生徒 30人

(ウ) 海外留学等を目指す日本人生徒 20人

3 魅力と活力ある高校づくりの推進

(1) 社会と連携・協働した魅力ある高校づくりの推進

① 県立高等学校教育改革第三次実施計画の推進

「県立高等学校教育改革第三次実施計画」（令和4年3月策定）に基づき、少子化等の社会変化に対応した県立高等学校の魅力と活力を維持するための方策を推進するとともに、それを実現するための適切な学校の規模と配置等を推進する。

② STEAM教育（新たな文理融合型教育）の展開 9,616千円（一部国庫4,808千円）

Society5.0時代において未来を創造する力を備えた人材を育成するため、異なる分野を総合的に学習し、文理を横断した複眼的視野により創造力や課題解決能力を高める「兵庫型STEAM教育」を推進する。

STEAM教育を推進するモデル校を指定し、カリキュラムの検討等を行うとともに、中学・高校教諭に向けた広報を実施する。

ア 指定校 兵庫、加古川東、豊岡

イ 協力校 神戸

ウ 指定期間 令和2年度～令和4年度

エ 内容 ICTやIoT等の活用に関する教育プログラムの開発

STEAM教育先進国への教員派遣（短期海外研修）

STEAM教育の専門家による講演会、STEAM教育体験会の実施

中学・高校教諭等を対象とした広報の展開

ネイティブ英語教員の配置 等



3Dプリンタ特別講座（兵庫）



VRゴーグル体験（加古川東）



ドローン実習（豊岡）

「STEAM教育」とは、Science（科学）、Technology（技術）、Engineering（工学）、Art（芸術/文系）、Math（数学）の略。兵庫型は、English（英語）にも重点をおく。

③ 県立高校特色づくり推進事業～インスパイア・ハイスクール～の実施 56,460 千円

各学校が掲げる教育目標に沿って、生徒が成就感や達成感をもって学びたいことが学べる魅力ある学校づくりを支援する。

ア 実施校 全県立高等学校及び中等教育学校

イ 事業内容

- | | |
|--------------------|--------------|
| (ア) 理数教育研究指定校 | 【23 校 25 学科】 |
| (イ) 外国語教育研究指定校 | 【7 校 7 学科】 |
| (ウ) 人文社会教育研究指定校 | 【22 校 25 学科】 |
| (エ) 技能・技術教育研究指定校 | 【32 校 44 学科】 |
| (オ) 海外との国際交流研究指定校 | 【9 校 11 学科】 |
| (カ) 芸術文化推進指定校 | 【4 校 6 学科】 |
| (キ) 特色ある特別活動等推進指定校 | 【73 校 77 学科】 |



(ア) 大学体験学習(舞子)



(イ) グローバルミートング(加古川西)



(ウ) アクション・アカウンタビリティ(上郡)



(エ) 栄養面からの調理(山崎)



(オ) オンライン国際交流(生野)



(カ) ピアノ・リレーコンサート(西宮)



(キ) 日本文化・風習の伝承(須磨友が丘)

(2) 地域産業を担う人づくりの推進

① 新 県立学校における農業教育の高度化事業の実施

62,000 千円

専門人材を育成するため、農業教育の食品加工に関する学科を置く県立高校に高度化施設・設備を整備する。

ア 整備校 氷上高校

イ 整備内容 醸造実習畜産加工室棟の改修

② デジタル社会に対応した産業教育設備整備事業（令和2年度2月経済対策補正事業）

地域の産業を支える職業人材を育成するため、農業や工業等の職業系専門高校にデジタル化に対応した最先端の産業教育装置の整備を行った。

ア 整備校 44校のべ123学科

(農業、工業、商業、水産、家庭、看護、福祉に関する学科又は総合学科を設置している高等学校)

イ 対象装置 超音波画像診断装置、小型実習船、多関節ロボット、看護シミュレータ、介護シミュレータ、スチームコンベンションオープン、高輝度レーザープロジェクタ、高性能コンピュータ 等

ウ 活用例



実体顕微鏡によるマウス精子の観察（農業）



カトックスを活用した自動製造ラインの製作（西協工業）



最新機器を搭載した小型実習船の活用（香住）



ICTを活用した繁殖和牛自動給餌器（上郡）

② 「ひょうご匠の技」探求事業の実施

4,200千円

技術力の向上や技能検定・高度な資格取得を支援するため、工業高等学校にもものづくりに関わる高度熟練技術者等を特別非常勤講師として招聘（週1日）する。

ア 対象校 12校

イ 事業内容

(ア) 実習等の実技指導

生徒の「実習」や「課題研究」等の実技指導

(旋盤実習、電気工事实習、建築実習等)

(イ) 技能伝承講習会の実施（教員への実技指導）

工業科教員の専門技術・技能の質的向上と教育力向上のため、技能伝承講習会を実施



旋盤実技指導(小野工業)

③ 「ひょうごの達人」招聘事業の実施

7,504千円

生徒の高度な資格取得やスキルアップを支援し、職業に関する学科をもつ高校における特色づくりを推進するため、農業、商業、水産、家庭に関する学科を設置する高等学校に専門家を特別非常勤講師として招聘（週1日）する。

ア 対象校 農業科(10校)、商業科(9校)、水産科(1校)、家庭科(6校)

イ 事業内容

(ア) 実習等の実技指導

生徒の「実習」や「課題研究」等の実技指導

(造園、フラワーアレンジメント、簿記、情報処理、

食品加工、シュノーケリング、調理等)

(イ) 技能伝承講習会の実施（教員への実技指導）

農業、商業、水産、家庭科教員の専門技術・技能の

質的向上と教育力向上のために、技能伝承講習会を実施



着付け指導(松陽)

〔参考：職業学科における資格取得等の状況〕

ア 各種検定等の状況（令和3年度実績）

(ア) 工業科	・技能検定機械加工（旋盤）	2・3級 R3：134人（R2：119人）
	・技能検定機械加工（フライス盤）	2・3級 R3：17人（R2：4人）
	・技能検定内燃機関	2・3級 R3：9人（R2：8人）
	・技能検定建築大工	2・3級 R3：4人（R2：3人）
(イ) 商業科	・日商簿記	2級 R3：118人（R2：26人）
	・応用情報技術者試験	R3：1人（R2：0人）
	・基本情報技術者試験	R3：10人（R2：3人）
	・情報セキュリティマネジメント試験	R3：2人（R2：0人）
	・秘書検定	2級 R3：14人（R2：6人）
	・ファイナンシャルプランナー	3級 R3：10人（R2：6人）
	・全商主催検定（全9種目：簿記実務、会計実務、ビジネス情報、プログラミング、ビジネス文書、珠算、電卓、商業経済、英語）	1級合格：7種目以上 R3：11人（うち全9種目1人）（R2：17人）

イ 各種競技会等実績 (R3 実績)

(ア) 第 16 回若年者ものづくりコンテスト全国大会出場

・電気工事職種 銅賞

※専門学校生、大学生を含めた大会

(イ) 第 21 回高校生ものづくりコンテスト全国大会出場 (自動車整備・電気工事・化学分析・木材加工・測量)

(ロ) 第 72 回日本学校農業クラブ全国大会

・プロジェクト発表会 (Ⅱ類開発・保全・創造：最優秀賞)

・意見発表会 (Ⅰ類生産・流通・経営：最優秀賞)

・農業鑑定競技会 (農業部門 優秀賞、園芸部門 優秀賞、畜産部門 優秀賞、食品部門 優秀賞、農業土木部門 優秀賞、造園部門 優秀賞)

(3) 連携型中高一貫教育校の運営

小規模校の活性化と将来の地域づくりの担い手を育成するという観点から、千種高校と氷上西高校を連携型中高一貫教育校へ改編。

○ 千種高校 … 宍粟市立千種中学校

○ 氷上西高校 … 丹波市立氷上中学校、青垣中学校

【主な取組】

(ア) 中高連携による授業、部活動、生徒会活動

(イ) 中高連携による学校行事の開催、地域イベント等への参加

(ロ) 中高教職員による合同会議

(エ) 園小中高が連携した地域行事の開催 等

4 理数教育の充実

(1) 科学技術人材育成のための理数教育の充実

- ① スーパーサイエンスハイスクール（SSH）等の実施 112,300 千円
(文部科学省、科学技術振興機構(JST)指定)

国が将来の国際的な科学技術系人材の育成や高大接続の在り方を検討するため実施しているスーパーサイエンスハイスクール（SSH）を活用し、指定を受けた各学校が特色ある科学技術、理科・数学教育に関する教育課程等に取り組む。（全国217校 県立高校12校）

【指定校・取組例】

指定校	取組例
神戸	植物色素の紫外線遮断効果に関する研究
	物体検出による人間の距離と室内の密度の測定
長田 (R4新規指定)	防災の観点から考える神戸市が抱える地形的課題
	音楽聴取と主観的運動強度の関係
尼崎小田	モデルロケットの形状、環境と高度の関係
	ニワトリの卵の発生
宝塚北	尾翼形状が飛行特性に与える影響
	ユビナガホンヤドカリの殻の選好性
三田祥雲館	レールガンの高威力化
	三田市をゼロカーボン先進都市へ
明石北	段ボールベッドと強度
	自転車と空気圧の関係
加古川東	ブレース構造に代替し得る壁面構造の提案
	紙ごみから生成される灰を用いた資源の有効活用
小野	ゆらぐスミレ属の分類
	姿を変える変形菌の胞子について
姫路東	pHの数値とシャボン玉の持続時間の関係性
	三拍子の速さと心拍数の関係
姫路西	バイオエタノールでガソリン車の未来を救えるか
	プラスチック問題の救世主
龍野	サギソウ共生菌の採集方法と培養技術の開発
	内水氾濫の危険性とマンホールの座標化
豊岡	音楽と主観的感覚の関係～音楽の数学的構造～
	玄武洞の柱状節理について



オンラインを活用した実験(神戸)



DNA抽出実験(尼崎小田)

- ② 「数学・理科甲子園 2022」の実施 (科学技術振興機構(JST)指定 1/2) 836 千円
高校生の科学技術等に対する興味・関心、意欲・能力を高めるとともに、科学好きな生徒らが集い、競い合い、活躍できる場を構築し提供することで、科学好きの裾野を広げる。

(ア) 日 程 令和4年10月29日(土)

(イ) 場 所 甲南大学

(ウ) 内 容 数学、理科、科学技術等の基礎的・基本的な知識、技能を用いて、日常生活と関連づけられた数学・理科の課題に対し、生徒がチームを組んで、解答へのアプローチを競う。(R3実績 58校 348人参加)



数学分野 (図形に関する問題)



理科分野 (耐久性の高い構造物作成)

③ 兵庫「咲いテク」事業の実施

S S H指定校の連携を図り、各校の取組を共有し発展させるとともに、兵庫の理数教育を推進するため、合同発表会や情報交換会、共同研究の実施及び「サイエンスフェア in 兵庫」などの研究成果発表の場の提供を行う。

ア 「サイエンスフェア in 兵庫」の実施

(ア) 日 程 令和5年1月29日(日)

(イ) 場 所 兵庫県立大学情報科学キャンパス他

(ウ) 内 容 神戸高校など県内のS S H指定校を中心に、高校、大学、企業、研究機関が、研究発表を通じて交流し、理数分野における日頃の取組を情報発信する。

(エ) 参加者数 1,070人(生徒929人、教員117人、企業・大学等24人)

(R3 新型コロナウイルス感染症の影響により紙面発表に変更)

イ Science Conference in Hyogo

他校の生徒や教員に研究成果を英語で発表することにより、科学・技術の分野での英語運用能力を向上させるとともに、他の発表者や聴衆と質疑応答を行うことにより、英語で情報を集め共有する能力を向上させる。

(ア) 日 程 令和4年7月18日(月・祝)

(イ) 場 所 神戸大学出光佐三記念六甲台講堂

(ウ) 参加者数 140人(生徒73人、教員67人(R3実績))

④ 理数教育推進協議会の開催

学識経験者、小・中・高等学校関係者を委員として、小・中学校の実態を踏まえつつ、事業の評価・検証を行い、高等学校の理数教育の充実を図る。

5 多様な学びの機会の提供

(1) 多部制単位制高等学校の設置

働きながら学ぶ生徒や中途退学者の学び直し、自分のペースで学びたい生徒など幅広いニーズをもつ生徒に対応するため、多部制単位制高等学校を設置する。

- (ア) 設置校 4校 普通科 3校 (西宮香風、阪神昆陽、西脇北)
工業科 1校 (飾磨工業)
- (イ) 授業時間帯 1部 (午前)、2部 (午後)、3部 (夜間) の3部制
- (ウ) 学 期 前期、後期の2学期制
- (エ) 生徒募集の方法

区 分	入学時期	出願資格
I・II期試験	4月	中学校卒業見込者または既卒者等
III期試験	10月	中学校既卒者または転・編入学希望者

(2) 定時制及び通信制高等学校における三修制の推進

定時制及び通信制高等学校において、3年で卒業することも可能とする三修制を推進するため、学校間連携や学校外の学修等、多様な学習活動を保障する教育課程を実施する。

① 併修教育

定時制課程または通信制課程に在籍している生徒が、一部の科目について、それぞれ通信制課程または定時制課程で履修することができる。

② 高等学校卒業程度認定試験の単位認定

高等学校卒業程度認定試験の合格科目を、在籍する高等学校の相当する教科・科目の単位として認定することができる。

③ 知識及び技能に関する審査の成果の単位認定

文部科学省が定める知識及び技能に関する審査の合格により、在籍する高等学校の相当する教科・科目の単位として認定することができる。(例 実用英語技能検定、危険物取扱者等)

④ 実務等による職業に関する各教科・科目の履修の一部代替

職業に関する教科・科目を履修する生徒が、密接な関係を有する職業に従事している場合、その実務をもって、その教科・科目の履修の一部にかえることができる。

(3) 専修・特別専修コースの充実

職業に関する専門教育の学習を希望する者のため、専修・特別専修コースを設置する。

① 専修コース (当該学科の卒業資格を認定)

- (ア) 設置校 (2校) 神戸工業 (機械、電気、建築、情報技術)、長田商業 (商業)
- (イ) 対象者 当該学科以外の学科の高等学校卒業生等 (R3実績 26人)
- (ウ) 履修方法 修業年限2年 (3年次に編入学)

② 特別専修コース (主に職業に関する資格を取得)

- (ア) 設置校 神崎工業 (機械、電気)
- (イ) 対象者 当該学科以外の学科の高等学校卒業生並びに高等学校第1学年以上の課程の修了者と同等以上の年齢及び学歴があると認められた者 (R3実績 18人)
- (ウ) 履修方法 専門教育に関する教科・科目の一部を履修等

Ⅲ 「豊かな心」の育成

人間としての在り方生き方を考え、社会の一員としての自覚を深めるなど、社会的自立の基礎を培うため、命を大切にする心や思いやりの心、規範意識を養うなど、兵庫型「体験教育」を推進する。

1 兵庫型「体験教育」の推進

(1) 主体的な取組を強化する兵庫型「体験教育」の新展開

① 高校生ふるさと貢献・活性化事業～トライやる・ワーク～の実施 35,280 千円

地域社会の一員としての自覚と態度を育み、兵庫県を支える人材づくりを推進する。

ア ふるさと貢献活動

(ア) 対 象 全県立高校（高校1年生中心）

(イ) 取組内容 ふるさとに対する関心を高めるため、環境保全・地域安全活動及び祭りなど地域行事への参加

イ ふるさと活性化活動

(ア) 対 象 全県立高校

(イ) 取組内容 高校生が独自の視点で兵庫の魅力を考察し、自治体や企業等に提案した地域活性化策の具現化



たくあん漬けを通じた地域文化交流(但馬農業)



地域企業と連携した地元食材を使った新商品開発(宝塚東)

② 高校生就業体験事業～インターンシップ推進プラン～の実施 3,094 千円

自己の将来の在り方生き方について考え、目標を持って主体的な進路選択を実現するため、産業の現場など学習内容や進路に関連した就業体験(インターンシップ)を実施する。

ア 実施校 全県立高等学校

イ 内 容

(ア) 推進協議会の設置

兵庫県経営者協会、兵庫県商工会議所連合会等経済団体代表者、兵庫労働局、兵庫県産業労働部等

(イ) 各校におけるインターンシップの実施

事業所におけるインターンシップ事業報告会の開催

(ウ) 県庁インターンシップの実施

実施予定 令和4年8月22日(月)～26日(金) (令和3年度は中止)

受け入れ先 知事部局各課

県民局・県民センター

県教育委員会事務局各課及び教育事務所等関係機関

県警察本部



搾乳実習(佐用)

③ 高校生・ふれあい育児体験の推進

高校生が思いやりの心を持ち、乳幼児に対する理解を深めるとともに、自分自身の生き方を考える契機とするため、乳幼児とふれあう育児体験を推進する。

ア 実施校 81校 (R3実績)

イ 実施例

- (ア) 乳幼児の発達、生活、遊びの観察
- (イ) 生活習慣や活動(食事等)を通じたふれ合い
- (ウ) 玩具・絵本・紙芝居の製作及び読み聞かせ等

④ 高等学校総合文化祭の開催及び参加

1,114千円

高校生の芸術文化活動の振興を図るとともに、生徒相互の交流と研鑽を深め、心豊かな人間性の育成を図るための発表会を開催する。また、全国の発表会に参加する。

ア 第46回兵庫県高等学校総合文化祭

- (ア) 期 日 令和4年10月29日(土)～11月23日(水・祝)
- (イ) 場 所 長田区文化センター別館ピフレホール(神戸市) 他
- (ウ) 参加者数 6,094人(演劇、合唱、吹奏楽、書道など19部門)(R3実績)

イ 第42回近畿高等学校総合文化祭(和歌山県)

- (ア) 期 日 令和4年11月18日(金)～11月27日(日)
- (イ) 場 所 和歌山県民文化会館(和歌山市) 他
- (ウ) 参加府県(10府県)

滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山、三重、福井、徳島、鳥取

ウ 第46回全国高等学校総合文化祭(東京都)

- (ア) 期 日 令和4年7月31日(日)～8月4日(木)
- (イ) 場 所 東京国際フォーラム(千代田区) 他

2 ふるさと意識を醸成する教育の推進

(1) 歴史に関する教育等の充実

① 高等学校日本の歴史及び文化に関する学習の充実

グローバルな視点から日本の歴史や文化を学ぶ機会を充実し、日本人としてのアイデンティティの確立を図るため、副読本「世界と日本」や教材「日本の文化」等活用した学習の全県展開を進める。

※副読本「世界と日本」：世界史の授業の中で日本の歴史と関連づけて学ぶ。

教材「日本の文化」：日本の歴史や伝統文化を学ぶ。英訳版“The Culture of Japan”も活用。

② 高校生ふるさと貢献・活性化事業(再掲)

③ 郷土伝統芸能の継承

伝統ある郷土の文化を後世に伝えていくため、高等学校において、部活動として伝統文化の継承を推進する。

【推進校（7校）】

学校名	活動内容
千種	千種太鼓
出石	出石焼
淡路三原	淡路人形浄瑠璃
播磨農業	播州歌舞伎
上郡	和太鼓
明石城西	吟剣詩舞
浜坂	麒麟獅子舞



播州歌舞伎(播磨農業)



麒麟獅子舞(浜坂)

(2) 地域住民への学習機会の提供

① 高等学校地域オープン講座の開設

658 千円

各学校が設置する教科・科目のうち、学校の特色となる科目や地域住民の関心が高い科目について、地域住民に対し、高校生とともに学ぶ場を提供する。

ア ユニット講座

(ア) 内 容 通年にわたり地域の人々が参加することが可能な科目を「ユニット講座」として開設し、地域住民が科目履修生として受講する。学習成果に応じて、校長が単位を認定することができる。

(イ) 開設校・講座 6校・14講座 (R3実績)

(ウ) 受講料 1単位につき1,620円

(エ) 受講者数 54人 (R3実績)

〔参考：R4実施予定講座〕

学 校 名	講 座 名
川 西 明 峰	デジタル画像処理応用
加 古 川 南	語学（中国語ⅠⅡ、スペイン語ⅠⅡ、ハングルⅡ）
出 石	美術概論、書道概論

イ ユニーク講座

(イ) 内 容

各教科・科目の学習内容のうち、地域住民の学習ニーズに対応した内容について、短期間の聴講を「ユニーク講座」として開設し、地域住民が聴講生として受講する。

(イ) 開設校・講座 1校・2講座 (R3実績)



フラワーアレンジメント(有馬)

学 校 名	講 座 名
有 馬	フラワーアレンジ、クラインガルテン市民農園講座

(ウ) 受講料 無料

(エ) 受講者数 17人 (R3実績)

〔参考：R4実施予定講座〕 ※令和4年6月現在届出済の講座

学 校 名	講座名
湊 川	ふれあい書道、識字教室
太 子	中国語（Ⅰ・Ⅱ）、ハングル（Ⅰ・Ⅱ）、英語会話

IV 兵庫型「キャリア教育」の推進

キャリアプランニング能力やコミュニケーション能力、課題対応能力等社会的自立に必要な能力を育成するため、発達段階に応じて、教育活動全体を通じた組織的・系統的なキャリア教育を推進する。

1 体系的・系統的なキャリア教育の推進

(1) 小・中・高一貫したキャリア形成を図る取組の充実

① キャリア教育研修の推進

キャリア教育の全体計画・年間指導計画にもとづく指導、小・中・高の系統だったキャリアノートの活用等の充実を図るため、初任者研修をはじめとする教員研修を実施する。

※ キャリアノートとは（H26 作成、R3 改訂）
キャリア発達を促す様々な学習経験や活動の記録などを、生徒自身が書き込むノート

ア キャリア教育実践研修（進路指導部長会）

（ア）対 象：全県立高等学校担当教員

（イ）実 施 日：令和4年6月23日（木）

イ 初任者研修 キャリアノートの活用方法等を研修

ウ 「高等学校版キャリアノートモデル」の改訂（R3）

学校での活用状況や「高校生のライフプランニング（文部科学省）」、現代的課題を踏まえ、「高等学校版キャリアノート」の内容充実を図る。

※小中学校との校種間の引き継ぎや人生設計を意識した内容に改訂。

エ 小・中・高12年間を繋ぐキャリア教育充実事業

（ア）キャリア教育推進委員会の開催（学識経験者及び小中高管理職等参加）

（イ）地区別中高連絡会の開催（中高教員参加）

② 高校生就業体験事業～インターンシップ推進プラン～の実施（再掲）

③ 政治的教養を高める教育の推進

ア 政治的教養を高める教育に係る教員実践研究事業の実施

高校3年間を通じた政治的教養を高める教育を推進するため、平成30年度に新たな事例を加え増補した県独自で作成した指導事例集を活用し、全ての教員が高校生の政治的教養を高める指導を行えるよう実践研修を実施する。

（ア）実施日程 令和4年5月19日（木）

（イ）内 容 有識者による講演、優れた実践事例の研究協議 等

※ 選挙管理委員会による出前授業 36校（R3）

V 特別支援教育の推進（高校教育課関係分）

障害のある生徒が合理的配慮の提供を受けながら、適切な指導や必要な支援を受けられる体制の充実や、障害のない生徒との交流及び共同学習の充実を図る。

1 連続性のある多様な学びの充実

(1) 教育的ニーズに応じた指導の充実

① 通級による実践研究事業の実施

7,400千円（国指定）

高等学校に在籍する生徒で、LD、ADHD 等により、学習上や生活上のつまずきのある生徒に対して、きめ細かい指導・支援を行うため、通級による指導の実践研究校を設置する。

ア 拠点校（20校）の取組

(ア) 特別な教育課程の編成等の研究

学校の教育課程上の特色や実態に合わせて、通級による指導への柔軟な対応や個に応じた指導、単位認定等について研究する。

(イ) 通級による指導の実施

(ロ) 個別の教育支援計画・個別の指導計画の作成

中学校からの引継ぎ事項を活かし、適切なアセスメントに基づいた個別の教育支援計画等を作成・活用する。

(ハ) 近隣の高等学校への理解啓発

通級による指導についての理解啓発に関する取組や巡回による指導の検討を行う。

イ 協力校（18校）の取組

特別支援学校が協力校として、通級による指導の対象となる生徒のアセスメントや、個別の教育支援計画、個別の指導計画作成、自立活動の指導方法や必要な教材教具の助言を行う。

ウ 巡回校（10校）の取組

拠点校の教員による巡回による指導を受ける。また、学校の研究課題に合わせた校内研修を実施する。

エ 拠点校及び協力校（各20校）

	拠点校（高等学校）	協力校（特別支援学校）		拠点校（高等学校）	協力校（特別支援学校）
1	東灘	芦屋	11	播磨南	東はりま
2	神戸鈴蘭台	神戸	12	西脇北	北はりま
3	淡路	あわじ	13	伊和	西はりま
4	湊川	神戸	14	太子	播磨
5	宝塚西	こやの里	15	相生産業	赤穂
6	有馬	上野ヶ原	16	姫路北	姫路
7	篠山産業	高等	17	豊岡総合	豊岡聴覚
8	氷上西	氷上	18	村岡	出石・みかた校
9	西宮香風	芦屋	19	但馬農業	出石
10	阪神昆陽	阪神昆陽	20	和田山	和田山

オ 巡回校（拠点校）（10校）

	巡回校	拠点校		巡回校	拠点校
1	西宮甲山	西宮香風	6	三木北	西脇北
2	宝塚	宝塚西	7	多可	西脇北
3	国際	西宮香風	8	香住	村岡
4	芦屋国際中等	西宮香風	9	浜坂	村岡
5	尼崎工業	阪神昆陽	10	豊岡	豊岡総合

② 特別支援学校と高等学校との交流及び共同学習の推進

障害のある生徒と障害のない生徒との相互理解、地域社会の一員として生きる力を共に育むため、県立高等学校の教室を活用した県立特別支援分教室の設置を含めた日常的な交流及び共同学習を推進する。

ア 交流及び共同学習の実施

(ア) 内容

- ・音楽、体育、情報等の授業を通じた交流
- ・運動会、文化祭等の行事を通じた交流
- ・生徒会や部活動、作品展示等を通じた交流



舞子高校と視覚特別支援学校の交流及び共同学習

(イ) 実施校（20校）

	高等学校	特別支援学校		高等学校	特別支援学校
1	神戸甲北	神戸	11	多可	北はりま
2	舞子	視覚	12	三木北	のじぎく
3	神戸高塚	神戸聴覚	13	姫路別所	姫路
4	武庫荘総合	阪神	14	姫路工業	姫路聴覚
5	西宮	芦屋	15	姫路商業	姫路しらさぎ
6	猪名川	こやの里	16	龍野北	西はりま
7	三田祥雲館	上野ヶ原	17	赤穂	赤穂
8	氷上	氷上	18	但馬農業	出石
9	農業	いなみ野	19	生野	和田山
10	播磨南	東はりま	20	洲本	あわじ

イ 高等学校への特別支援学校分教室の設置

交流及び共同学習の実践成果を踏まえ、施設(教室)の確保、カリキュラムの編制等環境の整った高等学校に特別支援学校分教室を設置し、教育効果を一層高める交流及び共同学習を実施する。

(ア) 実施校

- ・姫路別所高校内に姫路特別支援学校の分教室を設置（平成23年4月～）
- ・猪名川高校内にこやの里特別支援学校の分教室を設置（平成26年4月～）
- ・武庫荘総合高校内に阪神特別支援学校の分教室を設置（平成27年4月～）

(イ) 取組

- ・情報「文書作成」、音楽「三線」等の授業で共に学習
- ・交流文化祭、交流体育祭、マラソン大会、耐寒登山を合同で実施 等

(2) 特別支援教育を充実させるための教育環境整備の推進

13,570 千円

① 特別な支援を必要とする生徒支援対策の実施

教育上特別の支援を必要とする生徒に対して、障害による困難を克服するための教育環境を整備するため、学校生活で支援が必要な生徒が在籍する県立高等学校に支援員を配置し、学校生活や学習活動を支援する。

ア 配置人数 9人

イ 内 容

(ア) 学校生活支援員

- ・配置校 7校7人
- ・対象者 肢体不自由のある生徒

(イ) 学習活動自立支援員

- ・配置校 2校2人
- ・対象者 発達障害のある生徒

VI 学校の組織力の強化

1 地域・家庭と連携したいじめ等問題行動・不登校への対応

(義務教育課・特別支援教育課共管)

生徒に、互いを思いやり、尊重し、命や人権を大切にする心を育むため、「いじめ防止対策推進法」に基づき、いじめなど人間の尊厳を傷つける問題の早期発見・早期対応に努め、いじめ等問題行動対策、自殺予防対策の充実を図る。

(経緯)

- H25. 6 「いじめ防止対策推進法」成立（9月28日施行）
- H25. 10 国の「いじめの防止等のための基本的な方針」策定
- H26. 3 「兵庫県いじめ防止基本方針」策定
- H26. 4 「兵庫県いじめ対策審議会条例」施行
- H29. 3 国の「いじめの防止等のための基本的な方針」改定
- H29. 3 「兵庫県いじめ防止基本方針」改定

(いじめの定義 いじめ防止対策推進法 第2条)

児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の人的関係のある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものも含む。）であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているものをいう。

〔いじめの認知件数（児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査）〕

(文部科学省：令和2年度実績)

学校種	全国（公立学校）			兵庫県（公立学校）		
	認知件数	児童生徒 1,000人 あたり件数	認知件数 前年度比	認知件数	児童生徒 1,000人 あたり件数	認知件数 前年度比
小学校	416,861	67.1	0.87	15,049	53.6	0.93
中学校	78,537	26.5	0.76	4,347	33.2	0.75
高等学校	10,238	4.9	0.74	443	4.5	0.67
特別支援学校	2,203	15.6	0.74	141	24.5	0.98
令和2年度計	507,839	44.6	0.85	19,980	38.7	0.88
令和元年度計	599,066	51.7	1.13	22,783	43.4	1.37

(1) いじめ防止のための推進体制の整備

① 兵庫県いじめ対策審議会の開催

117千円

兵庫県いじめ防止基本方針及びいじめ防止対策に関して、有識者が専門的見地から意見等を述べるための審議会を開催する。

(7) 構成 弁護士、精神科医、学識経験者、臨床心理士 等

(イ) 開催回数 年1回（11月上旬を予定）

② 兵庫県いじめ対応ネットワーク会議の開催

県、教育事務所、市町、学校、ひょうごっ子悩み相談センター（県立教育研修所）、関係機関が日頃から連携し、一体となっていじめの未然防止、早期発見・早期解決を図るための全県的、地域的な体制を整備する。

- (ア) いじめ対応全県ネットワーク会議 年1回開催（令和4年6月13日（月））
- (イ) いじめ対応地域ネットワーク会議 年2回開催

(2) 未然防止のための取組

① いじめ防止啓発チラシの配布（小・中・高・特） 439千円

いじめ問題の理解やいじめ相談窓口等を記したチラシを全保護者及び関係機関に配布する。

② カウンセリングマインド研修の実施（高・特）

いじめ等問題行動の各校の個別事案に適切に対応するため、全教職員対象のいじめ等に係る認知能力及びカウンセリング能力の向上を図る研修を実施する。

ア 全県カウンセリングマインド研修（1回）（令和4年5月27日（金））

- (ア) 対 象：各県立学校教職員（いじめ対応チーム構成員等）
- (イ) 実施場所：県立教育研修所
- (ウ) 内 容：講演「ヤングケアラーを考える～子どもの抱える課題とその対応～」
関西学院大学人間福祉学部教授 馬場 幸子 氏

イ 校内カウンセリングマインド研修

- (ア) 対 象：各県立学校全教職員
- (イ) 実施回数：年間1回以上

※ ヤングケアラーの支援等について

- 兵庫県ケアラー・ヤングケアラー支援推進方策（令和4年2月）に基づき対応
 - ・教職員への研修の実施
県教育委員会：カウンセリングマインド研修・各地区校長会・各地区生徒指導協議会 等
 - 知 事 部 局：福祉・介護・医療・教育等の関係機関職員研修
 - ・日頃の生徒の生活態度や生活アンケート等の活用、面談等を通じた生活環境の把握
 - ・スクールソーシャルワーカー等を活用した福祉部局等の関係機関との連携
 - ・キャンパスカウンセラーをメンバーに含めた校内支援体制の構築

③ 心の教育総合センターの運営

心の教育に関する今日的な課題に対応するため、大学との連携のもと、調査・研究等を行うとともに、児童生徒や保護者等への相談活動の充実を図る。

- ・設置場所 県立教育研修所
- ・事業内容

ア 調査・研究

- (ア) 自殺予防に生かせる教育プログラムの普及と実践
- (イ) 児童生徒の資質・能力の把握に生かせるアンケート「CoCoLo-34」の普及と実践
- (ウ) いじめ未然防止プログラムの普及と実践
- (エ) いじめ未然防止プログラム（授業プログラム、研修プログラム）の研究

イ 悩み相談内容の整理・分析

ウ 教職員等に対する研修及び啓発 等

(3) 早期発見のための取組

① 高校生心のサポートシステムの推進

生徒指導の充実、強化を図るため、問題行動抑止のための調査研究を行うとともに、問題行動を起こした生徒に対し、プロジェクトチームを編成して具体的な対応方策を実践する。加えて新しい生徒指導の実践研究を行う。

[高校生心のサポートシステムの実践・研究テーマ]

- ア いじめや不登校の未然防止に向けた実践・研究（17校）
- イ 命を大切にすることを育む実践・研究〔自殺予防〕（13校）
- ウ スマートフォン社会における望ましい人間関係を築く力を育む実践・研究（14校）



生徒によるスマホのルール作り（夢前）



命を大切にすることを育む授業（西脇北）

② キャンパスカウンセラーの配置

69,264 千円

多様化・複雑化した生徒のいじめ等の問題行動に対応するため、キャンパスカウンセラーを高等学校に派遣し、教育相談体制の充実を図る。

- (ア) 対象校 全県立高等学校及び中等教育学校（後期課程）
- (イ) 派遣回数 4回程度／月（新型コロナウイルス感染症対応：学校の要請により回数増）
- (ウ) 内容
 - ・生徒や保護者の教育相談
 - ・生徒に関する教職員の相談
 - ・カウンセリング等に関する、教職員等に対する研修や助言 等
- (エ) 資格
臨床心理士、精神科医、カウンセリング協会等が認定したカウンセラー、大学教授等

③ いじめ等教育相談の実施

いじめ、不登校、友人関係や進路、体罰などで悩んでいる児童生徒や保護者などの相談に応じるため、いじめ等の教育相談を実施し、幼児や児童生徒の心の悩み等の解消を図る。

ア ひょうごっ子SNS悩み相談

(ア) SNS (LINE) を活用した相談窓口の設置

(イ) 実施期間 令和4年4月1日(金)～令和5年3月31日(金)

(ウ) 相談時間 17:00～21:00

(エ) 相談者 原則 県内児童生徒

(オ) 登録人数 8,648人(R3実績)

相談対応件数 2,392件(相談受付件数 3,613件)

イ ひょうごっ子悩み相談((いじめ・体罰・子ども安全)相談24時間ホットライン)の実施

相談件数 5,248件(R3実績(昼間1,631件・夜間3,617件))

家庭・子育て 1,427件、学業・進路 492件、いじめ 204件

ウ ひょうごっ子悩み相談(分室)・ひょうごっ子〈いじめ・体罰・子ども安全〉相談・通報窓口の設置

相談件数 209件(R3実績)

家庭・子育て 39件、学業・進路 8件、いじめ 17件

エ 教育事務所「教育相談窓口」の設置

(ア) 実施日 月1～2回程度定期日を設けて実施

(イ) 内容 学校OB等が対応し、場合により教育問題検討会議を開き、弁護士等が相談に応じる。

相談件数 3,568件(R3実績) ※学校支援チームによる相談含む

面接相談 問題行動 1,996件、いじめ 372件、児童虐待 519件

(4) 早期対応のための取組

① **新** 学校問題サポートチームの設置

複雑化する学校課題に対し、教育事務所長のリーダーシップのもと、効果的・機動的な支援を行う「学校問題サポートチーム」を設置し、県教育委員会事務局内の学校問題支援室との連携を図る。

ア 設置場所 6教育事務所

イ 構成 チームリーダー、学校支援専門員、スクールカウンセラー(臨床心理士等) スクールソーシャルワーカー(社会福祉士等)、弁護士、精神科医、メンタルヘルスアドバイザー等

② 県立学校問題解決サポートチームの設置

160 千円

高等学校等に寄せられる様々な要望等に対して、課題の早期解決を図るため、中立的な立場で判断・対応する体制を整備する。

ア 体制

高校教育課内に専門員（非常勤）を配置（週4日）するとともに、必要に応じて弁護士及び精神科医を招聘する。

イ 支援内容

- (ア) 保護者等からの苦情等への対応等にかかる学校管理職への指導・助言
- (イ) 保護者、住民からの電話相談・面接相談及び早期解決への協力
- (ウ) 生徒指導協議会等での講義等教員研修への支援

ウ 相談件数 1,291 件 (R3実績)

・ 相談者等の内訳

学校管理職	保護者	地域住民等	教員・生徒等	その他 (関係機関等)	計
835件 (64.7%)	189件 (14.6%)	116件 (9.0%)	86件 (6.7%)	65件 (5.0%)	1,291件

・ 相談方法の内訳

電話	面談	その他 (手紙など)	メール	計
839件 (65.0%)	65件 (5.0%)	1件 (0.08%)	386件 (29.9%)	1,291件

③ スクールロイヤーの配置

県立学校に寄せられる様々な要望・問題等に対し、直接スクールロイヤーから法に基づく助言が得られる体制を整備し、早期解決を支援する。

ア 回数 週1回高校教育課に配置

イ 内容 教育委員会、学校における日常的な法律相談、重大事案・事故等発生時における指導・助言

ウ 相談件数 実相談件数：92件 のべ相談件数：120件 ※R3実績 以下同じ

エ 相談方法 面談(101件 84.2%)電話(5件 4.1%)メール(2件 1.7%)Web会議(12件 10.0%)

オ 相談者等 学校管理職 (57件 47.3%) 事務局各課 (63件 52.7%)

カ 相談内容 保護者からの要求・苦情 (41件 25.6%) いじめ問題 (21件 13.1%)
教職員への対応 (10件 6.3%) 学校運営上の課題 (9件 5.6%)
特別な支援を要する児童生徒への対応 (8件 5.0%) 等

参考資料 1

地区別県立高等学校数

(R4年4月1日現在)

区 分	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	合計
全日制単独	19	15	14	15	11	12	8	10	6	4	114
全通併置						1					1
全定併置			1	2	1	1	3	1		1	10
定時制単独	3	2	1	1	1	1					9
通信制単独	1										1
合 計	23	17	16	18	13	15	11	11	6	5	135

※中等教育学校は含まない。

参考資料 2

大学科別県立高等学校数・生徒数

(R4年5月1日現在)

学 科 名		全 日 制		定 時 制		通 信 制		
		学校数	生徒数 (人)	学校数	生徒数 (人)	学校数	生徒数 (人)	
普 通 科		91	53,395	12	2,553	2	1,813	
専 門 学 科	職 業 に 関 す る 専 門 学 科	農業科	10	2,337	—	—	—	—
		工業科	12	5,563	5	868	—	—
		商業科	7	2,304	2	139	—	—
		水産科	1	110	—	—	—	—
		家庭科	6	587	—	—	—	—
		看護科	2	230	—	—	—	—
		福祉科	3	306	—	—	—	—
	特 色 あ る 専 門 学 科	理数科	10	1,163	—	—	—	—
		体育科	1	119	—	—	—	—
		音楽科	1	104	—	—	—	—
		美術科	1	111	—	—	—	—
		国際科	5	772	—	—	—	—
		演劇科	1	109	—	—	—	—
環境防災科		1	118	—	—	—	—	
総合科学科		1	451	—	—	—	—	
総合学科		14	8,353	—	—	—	—	
合 計		167	76,132	19	3,560	2	1,813	

※ 1 専門学科の記載は、「兵庫県立高等学校の通学区域に関する規則」別表第1に記載する学科の記載順による。

2 看護科の生徒数には看護専攻科（158人）は含まず

「県立高等学校教育改革第二次実施計画」における推進状況（H21～R3）

個性を尊重する多様で柔軟な高等学校教育をめざし、学びたいことが学べる魅力ある学校づくりを推進。

	推進項目	取組内容
(1) 魅力ある学校づくりの推進	①全日制普通科単 位制高等学校の 設置	西宮高校(H23)
	②特色ある専門学 科の設置	加古川東高校：理数科(H22) 豊岡高校：理数科(H23) 鳴尾高校：国際文化情報学科(H23) 尼崎小田高校：国際探求学科(H24) 明石北高校：自然科学科(H24) 宝塚北高校：グローバルサイエンス科(H26) 龍野高校：総合自然科学科(H27) 兵庫高校：創造科学科(H28) 三木高校：国際総合科(H28) 姫路西高校：国際理学科の設置(H30) 小野高校：科学探究科の設置(R2)
	③全日制普通科の コースの設置	総合人間系コース ・兵庫高校(H26) ・尼崎高校(H26) ・北条高校(H28) 自然科学系コース ・川西緑台(H29)
	④職業教育を主と する学科の在り 方の検討	「職業教育を主とする学科の在り方検討会」報告(H22) 職業学科充実に向けた計画の検討 篠山産業高校：農業科、工業科、商業科の改編(H30) 飾磨工業高校：工業科の改編(H30) 但馬農業高校：農業科の改編(H30) 武庫荘総合高校：福祉探求科の設置(H30) 氷上：農業科、商業科の改編(H31) 兵庫工業高校：工業科の改編(R2) 洲本実業高校：商業科の改編(R2) 小野高校：商業科の改編(R2) 西脇工業高校：工業科の改編(R2) 上郡高校：農業科の改編(R2) 山崎高校：農業科、家庭科の改編(R3) 小野工業高校：工業科の改編(R3)
	⑤中高一貫教育校 の設置	千種高校 →中高一貫教育校に改編(H22) 氷上西高校 →中高一貫教育校に改編(H24)

	推進項目	これまでの取組 (H21～R3)
(2) 県立高等学校の望ましい規模と配置	①小規模校の在り方	千種高校【再掲】 家島高校 (H20～H21) →特色ある類型「海と科学類型」、「海と人間類型」を設置 (H23) 氷上西高校【再掲】 村岡高校：「地域アウトドアスポーツ類型」を設置 (H26) (定員の50%は学区を設定せず募集) 生野高校：「科学探究コース」を「観光・グローバル類型」に改編 (H30)
	②分校の在り方	淡路高校一宮校、洲本実業高校東浦校 →本校に統合 (H23) 篠山産業高校東雲校 →篠山東雲高校として独立 (H23) 篠山産業高校丹南校募集停止 (H26)
	③通学区域の在り方の検討	「兵庫県高等学校通学区域検討委員会」報告 (H23) 「新通学区域に係る基本方針」を決定 (H24) 「新通学区域に係る公立高等学校入学者選抜の改善について」を決定 (H24) 「高等学校奨学資金貸与制度にかかる通学交通費貸与月額上限拡大」を決定 (H25) 県立高等学校新通学区域の導入 (H27) 「高等学校通学区域検証委員会」報告 (H29)
(3) 入学者選抜制度 ・方法の改善	①複数志願選抜の導入	西宮学区、伊丹学区 (H21) 神戸第一・芦屋学区、神戸第二学区、宝塚学区 (H22) 西播学区 (H23) 丹有、北但、南但、淡路地域への複数志願選抜の導入 (H27) 高等学校通学区域検証委員会の設置 (H29)【再掲】
	②特色選抜の導入 (普通科)	西宮学区、伊丹学区 (H21) 神戸第一・芦屋学区、神戸第二学区、宝塚学区 (H22) 西播、丹有、北但、南但、淡路学区 (H23：全学区に導入)
(4) の活性化と望ましい配置 定時制・通信制高等学校	多部制単位制高等学校の設置	西脇北高校を改編 (H21) ・併せて北条高校定時制を募集停止 阪神昆陽高校を新たに設置 (H24) ・設置に伴う定時制の再編校 川西高校、川西高校宝塚良元校、 伊丹市立高校 (募集停止) (H24)

県立高校卒業者の進路状況

(人)

	H30.3		H31.3		R2.3		R3.3		R4.3	
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合
卒業生数 (全日制・定時制)	30,273		29,851		29,230		28,531		27,629	
○ 大学等進学者数	17,785	58.7%	17,327	58.0%	17,545	60.0%	17,545	61.5%	17,342	62.8%
(うち、国公立大学進学者数)	(3,543)	(11.7%)	(3,713)	(12.4%)	(3,596)	(12.3%)	(3,560)	12.5%	(3,577)	12.9%
(うち、私立大学進学者数)	(12,891)	(42.6%)	(12,265)	(41.1%)	(12,605)	(43.1%)	(12,728)	44.6%	(12,825)	46.4%
(うち、短期大学進学者数)	(1,351)	(4.5%)	(1,349)	(4.5%)	(1,344)	(4.6%)	(1,163)	4.1%	(940)	3.4%
○ 専修学校等進学者数	4,811	15.9%	4,963	16.6%	5,067	17.3%	4,860	17.0%	4,617	16.7%
○ 就職者数	4,373	14.4%	4,475	15.0%	4,173	14.3%	3,892	13.6%	3,508	12.7%
○ その他 (予備校等を含む)	3,304	10.9%	3,086	10.3%	2,442	8.4%	2,182	7.6%	1,936	7.0%

「ひょうご未来の高校教育あり方検討委員会報告書(R3. 3. 29 受領)」の概要について

【委員会設置趣旨】

平成 26 年から継続実施されている、「県立高等学校教育改革第二次実施計画」の推進状況の評価・検証を行うとともに、今後の生徒数の動向を考慮しつつ、高等学校教育の更なる充実を図るため、県立高校の望ましい規模と配置のあり方について検討。

【報告書概要】

I 県立高等学校教育改革第二次実施計画の評価

- 「第二次実施計画」を着実に進めることで、学びたいことが学べる魅力・特色ある学校づくりは推進された。
- 主体的に判断・行動し、新たな価値観を創造できる力を育成する教育のあり方を確立していくことが重要となっている。
- 多様な価値観を持つ生徒を受入れることのできる教育制度についても整備が必要である。
- 学校の規模が小さくなることで、生徒の興味や進路希望に応じた教育課程の編成等が困難になるなどの課題が想定される。

II 今後の県立高等学校教育改革の方向性

<高等学校で育成する力>

- ◇思いやりや寛容の心を持ち、人格の形成を主体的に求め続ける力
- ◇正確に情報を受け取ったうえで自分の考えを論理的に発信できる力
- ◇他者と協働しながら身の周りの社会的な課題に対応できる力
- ◇主権者として社会を構成するために必要な社会人基礎力
- ◇多様な価値観を受け入れたうえで物事を創造できる力
- ◇自国や地域文化への正しい知識に基づき、国際社会の中で対応できる力
- ◇困難な状況に接しても、しなやかに対応できる力

<未来への道を切り拓く力を育成するための方策>

- ・すべての教育活動において ICT の活用を推進するとともに、遠隔授業センターの設置等により、学校の規模を問わず個に応じた選択科目等が設置できる手法を全県規模で研究。
- ・Society5.0 時代において問題解決力や想像力を備えた人材の育成については、兵庫型「STEAM 教育」におけるカリキュラム検討を踏まえた、新たな学びを展開。
- ・特別な支援を要する生徒や外国籍生徒等については、通級制度や外国人特別枠制度導入校を中心に、より効果的なカリキュラム開発や教育相談との連携を強化。

<教育システムの充実・改革>

◇全日制普通科学年制（特色類型・コース）、特色ある専門学科、職業学科

- ・普通科の特色化を進めるうえで、生徒の興味や必要性に応じた学びの展開が、特に必要である場合には、学年制から単位制への改編を含めて検討。
- ・普通科の特色ある専門学科への改編や、特色ある専門学科の内容を見直すにあたっては、文理融合による新技術を活用した探究活動を軸とした学科や、地域の教育資源を活用して地域課題の解決に取り組む学びを軸とした学科等の新設を検討。
- ・コースについては、専門性の高さや生徒の学習ニーズ等を踏まえ、特色類型または専門学科への改編を検討。
- ・職業学科における、技術革新に対応した学びの充実を目的とした、先端機器等を活用した先進技術の習得を効果的に進めるための教員研修や外部人材の活用等について検討。

◇定時制・通信制

- ・可能な限り個別最適化された学びを実現するため、ICTによる遠隔授業の展開や多彩な学びを提供できる学びのコンテンツ整備等の検討。

<通学区域・入試制度>

- ・基本的には現行制度を維持するべきであるが、県境や学区の境に位置する地域について、選択肢が拡大していない等の課題も指摘されていることから、制度の全体的なあり方を、中長期的に検証。

<県立高等学校の活力を維持するための望ましい規模と配置のあり方>

- ・普通科及び総合学科で6～8学級、職業学科の単独校で3学級以上を望ましい規模として考えていくこと。
- ・通学できる範囲に高等学校が多く設置されている都市部においては、生徒の学びの多様性を保障するため、発展的統合を含め、望ましい学級規模を維持する方策を検討。
- ・地方部においては、通学できる範囲に唯一となった高等学校もあることから、望ましい学級規模に満たない高等学校について、地域の支援を得ながら存続可能性の有無を含めて検討。その際、全国募集の拡充、教員の加配、学級編制基準の弾力化、ICTを活用した遠隔授業、スクールバスの開設、寮の設置、高等学校の市町立化を含めて、あらゆる方策を視野に入れて検討。
- ・総合学科については、望ましい規模に満たない場合は、生徒の興味や必要性に応じた系列の設置が困難であることから、近隣の高等学校との統合による規模の確保が難しい場合には、普通科または職業学科への改編を検討。
- ・職業学科については、小学科ごとに専門性の高い学びを展開していることを認識したうえで、地域産業の変化に対応できる学科のあり方を、地域の支援を得ながら検討。
- ・定時制・通信制の規模と配置については、個別のニーズへの対応の必要性を踏まえた、多部制高等学校の新たな設置等の可能性も視野に入れながら、各課程の機能・役割を發揮するためにふさわしい規模と配置のあり方を検討。

「県立高等学校教育改革第三次実施計画(R4.3.策定)」の概要について

第1章 計画の趣旨等

<計画の趣旨>

○第3期「ひょうご教育創造プラン（兵庫県教育基本計画）」及び「ひょうご未来の高校教育あり方検討委員会報告書」を受け、変化が激しく予測困難な時代を迎える中で、社会の変化に柔軟に対応し、自らの力で新しい社会を切り拓く力を育成できる県立高等学校であり続けられるよう、改革の基本的な考え方と方向性を示す。

<計画の期間>

○令和4～12年度の9年間。このうち、令和4～8年度の5年間の前期期間として取組内容を示す。

〔前期期間：令和4～8年度（5年間）、後期期間：令和9～12年度（4年間）〕

第2章 計画の基本的な考え方

<高等学校教育を取り巻く環境>

◇予測困難な変化の激しい時代

・グローバル化の進展 ・Society5.0時代の到来 ・ICTやAI等の高度な情報技術の進歩 ・新型コロナウイルス感染症の蔓延 等

◇高等学校教育を取り巻く環境の変化

・選挙権年齢の引き下げ ・成年年齢の引き下げ ・国における普通科改革 等

◇少子化による生徒数の減少

・国公立中学校卒業生数(R3.3) … 43,129人 [H元比 ▲44,239人]
 ・県立全日制高等学校数(R3.3) … 125校 [H元比 ▲ 3校]
 → 第1学年の平均学級数 【 5.3学級】
 → 望ましい規模に満たない県立高等学校数 【52/125校】

<実施計画における三つの柱>

- ◆県立高等学校の魅力・特色づくりの推進
- ◆県立高等学校（全日制）の望ましい規模と配置
- ◆入学者選抜制度・方法の工夫と改善

第3章 県立高等学校の魅力・特色づくりの推進

1 全日制普通科・総合学科

- ・普通科コースは、普通科新学科または普通科特色類型に改編 [R7に募集停止]
- ・望ましい規模の確保が見込めない総合学科は、普通科特色類型又は専門学科に改編
- ・普通科新学科（学際領域に関する学科/地域社会に関する学科）を新設
- ・STEAMに関する学科を新設（STEAM教育を全学区で推進）

2 専門教育を主とする学科（全日制）

- ・職業教育に関する学科は、専門分野の重点化や学科改編等を検討
- ・理数に関する学科、国際に関する学科は、必要に応じて改編を検討
- ・新たな特色ある学科は、全国でも有数の新たな学びに対して生徒や地域のニーズがある場合は設置を検討

3 中高一貫教育校

- ・連携型中高一貫教育校は、生徒や地域のニーズ等を踏まえ、新設、連携中学校の拡充又は連携の解消を検討

4 定時制・通信制

- ・多部制高校は、夜間定時制高校の再編により新設を検討
- ・通信制高校は、通定併修等の充実に向けて配置のあり方を検討

5 教育内容の工夫と充実〔各校において学びの創意工夫に取り組む際の視点〕

- ・スクール・ミッション等に基づく魅力・特色づくりの推進
- ・将来について考え、行動する態度や能力を育む教育の推進
- ・多様な価値観を認め、主体的に行動できる力を育む教育の推進
- ・新たな価値観を創造する力を育む教育の推進

第4章 県立高等学校(全日制)の望ましい規模と配置

<基本的な方向性>

- ◇多様で活力ある教育活動を維持するために必要な望ましい規模を、普通科・総合学科で、1学年6～8学級／職業学科の単独校で、1学年3学級以上とし、原則、発展的統合により望ましい規模を確保し、配置を検討

<具体的な進め方>

- ◇発展的統合を行う学校数

令和7年度に7組16校

神戸・芦屋地域（2組4校） 阪神地域（1組2校） 北播磨地域（1組3校）
中播磨地域（3組7校）

令和10年度に6組12校

阪神地域（1組2校） 丹有地域（2組4校） 東播磨地域（1組2校）
中播磨地域（1組2校） 西播磨地域（1組2校）

- ◇地域の特性等を踏まえ、発展的統合を行わない望ましい規模に満たない学校については、地域の支援を得ながら存続する可能性、もしくは、新たに発展的統合を行う可能性について、市町教育委員会等と引き続き協議

第5章 入学者選抜制度・方法の工夫と改善

<基本的な方向性>

- ◇本計画期間中は、現行の5学区を維持
- ◇入学者選抜制度全体のあり方については、前期期間または計画期間の満了時において、必要な見直しを検討するため、教育関係者等による検討組織を設置

<具体的な取組>

- ◇2月入試と3月入試の定員の割合、選抜方法の見直しの検討
- ◇普通科新学科及びSTEAM学科の選抜方法の検討
- ◇隣接区域の新たな設定の必要性の検討
- ◇職業教育を主とする学科の選抜方法の改善方策の検討
- ◇第5学区の進学連携校方式のあり方の検討
- ◇多部制単位制高等学校の部間の募集定員の割合等の見直しの検討
- ◇外国人生徒にかかわる特別枠選抜の検証